



校外での活動をとおして

副校長 田中 大輔

夏の暑さが過ぎ、寒い冬が始まる前の秋は、1年間で最も過ごしやすい季節です。その秋の最中の2学期には、全国的に多くの学校で様々な行事を実施します。

本校でも2学期にいくつもの校外での行事を実施、計画しています。9月には高2が校外学習、全校で「丸の内 Shall We コンサート」に行きました。10月には小学部が校外学習と修学旅行を行い、11月には中学部と高等部がそれぞれ修学旅行を予定しています



校外での諸活動は、学校や施設ではできない経験や体験、学びをとおして、児童・生徒の成長と発達に非常に重要な役割を果たしています。外部（社会）での経験、体験を通じて、日常生活や将来の社会生活に必要なスキルや知識を身に付けるための生きた学習をすることにより、将来の自立や社会参加に向けた準備にもつながります。

校外での活動を行う際、教員は強い緊張感をもって引率や指導をしています。その緊張感のもとはいくつかありますが、一番は絶対に事故（けがや行方不明）を起こしてはいけないということです。次に児童・生徒が座り込むなどして、動かなくなったり、必要以上に大きな声を出したり、物を壊したりしないように配慮するということです。前者は校内外を問わず防がなくてはならないことですが、後者は学校では日常的にあることです。

学校内では許容されることが、学校外では「マナーに反する」と思われることがあります。最近「多様性」を尊重するようになり、社会の理解が進んできました。しかしながら、少数ではありますが、好意的ではない捉え方をする方もおります。知的障害のある児童・生徒は、車いすも白杖（視覚障害の方が使う白い杖）も使っておらず、外見から障害があるか分からない、そもそも知的障害そのものがよく知られていない、ということも理解が得られない要因であるかもしれません。



社会が個人に寄せるのか、個人が社会に寄せるのか、考え方は様々ですが、学校では、公共施設等の利用時のマナーを守ることを指導したり、状況によって交通機関や食事の際の飲食店で隣り合わせた方に教員が児童・生徒のことを説明したりしています。また、校外学習や修学旅行といった行事の他に、普段の授業でも近隣への校外歩行や買い物学習等で積極的に校外に出ています。外に出ることで必然的に地域の方々との接点が生まれ、児童・生徒のことを知ってもらうことができます。

日々の学習活動であるこれらの一つ一つの小さな取り組みが、皆がより良く暮らせる社会の醸成につながっていくと考えています。

丸の内 Shall We コンサート

9月26日に、全校児童・生徒で木管五重奏の音楽鑑賞会に出掛けてきました。このコンサートは、三菱地所の社会貢献活動の一環として、都内特別支援学校を招待して下さっている取り組みです。朝早くから、大型バスに乗り込み、いざ東京国際フォーラムへ。普段と違う光景に、緊張気味の児童・生徒もいましたが、船や飛行機、モノレールやたくさんの車に出会ううちに、今度は何が見えるかな、と笑顔が増えてきました。きれいなホールに到着すると、それぞれに生演奏を楽しんでいました。楽器紹介では、リクエストしたアニメや映画の主題歌が演奏されると、一緒に歌って楽しむ生徒がいたり、この日のために一人一人に作っていただいたカスタネットを用いての「ラデツキー行進曲」の合奏で盛り上がりたりしました。コンサートから1か月が経つ今も、「Shall We コンサート、楽しかったね」との生徒の声を聞くと、思い出しの1ページが刻めて、本当に良かったと思うばかりです。 (文責：森 澄美子)

11月の予定

1	水	
2	木	学校公開
3	金	文化の日
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	身体計測 (小学部)
8	水	身体計測(中学部) 学校運営連絡協議会
9	木	避難訓練(地震) 身体計測 (高等部女子)
10	金	身体計測 (高等部男子)
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	高等部修学旅行前検診
16	木	高等部修学旅行始
17	金	高等部修学旅行終
18	土	
19	日	
20	月	しいの木集会、安全指導日 中学部修学旅行前検診
21	火	中学部修学旅行始
22	水	中学部修学旅行終
23	木	勤労感謝の日
24	金	短縮授業日 (13:50 下校) 保護者通信の送信
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	高等部校内実習
30	木	高等部校内実習 小中学部歯科保健指導

小学部

生活単元学習の授業で、「ハロウィンパーティー」を行いました。曲や合図に合わせて音楽で慣れ親しんだデスクベルを鳴らしたり、ハロウィンの帽子やマントの衣装を身に付け、記念撮影を行った後、校内を歩いたりしました。パレード中は、お菓子への期待感から笑顔が溢れていました。企画室の方からお菓子入りのかぼちゃのバスケットを受け取り、教室で食べました。「おいしかったよ」と喜んで食べる姿が印象的でした。

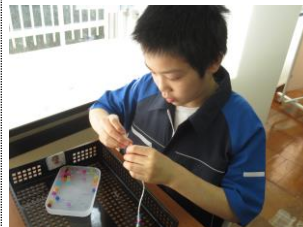
今後は、収穫したさつまいもを使った調理を予定しています。これからも季節や行事を楽しめる活動や主体的に取り組める活動を行ってまいります。
(文責：山田 麻衣)



中学部

中学部では「職業」の時間に、ビーズ通しや袋詰め等の軽作業に取り組んでいます。当初は、随時教員の支援が必要でしたが、くり返し活動に取り組んだり、作業内容を一部見直したりすることで、生徒たちは自立して軽作業に取り組めるようになりました。

生徒たちが力を発揮し、意欲的に作業に取り組む姿に、我々教員も感銘を受けました。他の教科においてもより一層生徒たちが力を発揮できるよう、今後も中学部の教員が一丸となり、日々の授業を実施していきます。
(文責：山田 浩輝)



高等部

高等部では9月29日(金)に東京都総務局総合防災部の協力を得てマイ・タイムラインセミナーを実施しました。マイ・タイムラインとは、台風等に伴う風水害への備えのひとつで、事前に作成した個人ごとの防災行動計画です。学校周辺のハザードマップを提示しながら危険箇所や避難所の確認を行いました。講義の他に、VRゴーグルを使用した風水害体験も行いました。VRの世界に没入し、臨場感あふれる体験ができました。この日は、放課後から高等部2年生が一泊二日宿泊防災訓練を行いました。11月の修学旅行では被災地での防災学習も予定しています。災害そのものを防ぐことは難しいですが、日頃の備えをしっかりとっておくことで被害を少なくすることはできます。その為には「知っておく」ことや「予測する」ことが大切になりますので、日々の学校生活の中でも意識できるよう指導していきます。
(文責：古山 武)

